

幼児教育保育学科

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>幼児教育保育学科を卒業するためには、次のような知識や能力、資質を身につけていることを求めます。</p> <p>【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>	<p>幼児教育保育学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを配置しています。</p> <p>【学科全体の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児期から青年期にあたる子どもたちの理解に必要な、基礎的な知識を理解するための科目を設置しています。 ●幼児教育や保育に関する知識をさらに深く理解するために、必要な専門科目を体系的に配置しています。 ●幼児教育や保育の現場で必要な実践的スキルを修得するために、演習、実習科目を設置しています。 ●保育士資格及び幼稚園教諭二種免許取得のための科目を設置しています。 <p>【興味関心を活かした学びの発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2回生配当科目として、教員の専門性を活かした内容で展開される専門演習を設定しており、自分の興味関心にもとづいて選択できるようにしています。 ●専門演習での学びを深めるために、より幅広い年齢層の子どもの心理や、多文化共生、特別支援などについて学ぶ科目や、子どものあそびについての理論的な理解と実践力を高める科目が配置されています。 ●アドバンスプログラムでは、将来、管理職を目指したり、公務員試験合格や4年制大学への編入を目指したりするための科目が配置されています。 ●プログレッシブプログラムでは、保育者になるための基本的な知識、技能を確実に身につけるための科目が配置されています。 	<p>幼児教育保育学科では、次のような資質や能力を持っている入学生を求めています。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもや、子どもを取り巻く伝統や遊び、文化について興味があり、理解したいと考えている人 ●子どもの育ちを支える保育や教育、福祉に興味があり、理解したいと考えている人 ●保育や教育、子どもの福祉に関わる仕事に就くことで地域に貢献したいと考えている人 ●保育士資格や幼稚園教諭免許を取得したいと考えている人 ●様々な背景を持つ人との関わりの中で、温かい心で他者を理解することに努めながら、冷静に自分の思いや考えを表現し、円滑なコミュニケーションを図る努力を怠らない人